



個々の尊重
専門性を高めた支援
家族支援を大切に



生活介護とは

常に介護を必要とする方に対して、主に昼間において、入浴・排泄・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談・助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を行います。

楽しく日中を過ごすことを前提に、個々の能力を評価した上で、日常生活能力や判断力、社会性などを身に付けられるように課題設定を行い実施します。
生きがいのある自立した社会生活が送られるように支援していきます。



桜の特徴

- 介護福祉士を中心とした複合チーム構成により、高度な専門性を持った支援。
- 受け入れる特性を限局せず、個々を大事に支援。
- 個々の能力を評価した上で、必要な認知課題を実施。
- レクリエーションを通して助け合いや協調性を体感していく。
- ADL（日常生活動作）訓練により、「できる動作」を拡大しながら増やしていく支援。
- 併用事業所や担当の相談支援専門員との情報共有による「今必要」な支援。
- スケジュール呈示や視覚情報呈示の多用により、自閉症スペクトラム障害の方へのスムーズな支援を日々検討し、生きづらさの軽減を図ります。
- 家族との何気ない会話を大切に、寄り添い支援します。
- 分からないことや制度への不安を一緒に解決していきます。

上記の様々な事を複合させ、
しっかりと個別支援計画を立案します。
それぞれのスタッフが支援に対しての専門意識を持ち、
個々のための支援を心掛けていきます。



